

原発再稼働ストップ



金曜行動 6月4日

◇盛岡

世論の力で実現

「盛岡でもデモし隊☆」は、盛岡市で脱原発を求め、247回目のデモ行進に取り組みました。雨が降り続くなか、10人が参加しました。

主催者は、国が「脱炭素」を口実に原発を推進するのは本末転倒だと批判。世論



雨のなかデモ行進する参加者―盛岡市

の力で原発ゼロ社会を実現させようと訴えました。参加者は「女川原発再稼働反対」「子どもを守ろう、

◇前橋

推進勢力に審判

原発をなくす前橋連絡会は、前橋市の前橋駅北口で433回目の宣伝に取り組み、11人が参加しました。

原発事故賠償群馬訴訟原告の丹治杉江さんが、新潟避難者訴訟の判決（2日）に触れ、「津波対策の必要性は学者の間に諸説あったから国には責任がないという、こんなひどい判決はない」と訴えました。

日本共産党の酒井宏明県議が「事故を起こさないためにには原発をなくすしかない。総選挙で、原発推進勢力に厳しい審判を下そう」と呼びかけました。

渋川・北群馬原発をなくす会の事務局長で福島県浪

おとなが守ろう」などと唱和。日本共産党の吉田恭子衆院岩手1区候補も歩きました。

原発をなくそうと呼びかける参加者―前橋駅北口



江町から避難してきた今野義雄氏が「浪江町の津島地区の帰還困難区域の住民がたたかっている津島原発訴訟の判決（7月30日）に注目してほしい」と呼びかけました。

原発再稼働ストップ

金曜行動 6月11日

◇徳島

「ふり」がお得意

「原発再稼働反対！ 徳島有志の会」は、徳島市のJR徳島駅前で454回目の「金曜行動」を行い、原発ゼロ徳島連絡会が毎月行う「イレブンアクション」も合流、原発反対を訴えました。

徳島市の横山良さん(70)は「菅首相は、2050年までに温室効果ガス実質ゼロと言いが、お得意の『やっつるふり』だ」とのべ、火力・原子力発電に固執する政府を批判。「クリーンエネルギーの普及には脱原発が必要だ」と力を込めました。

原発ゼロ徳島連絡会の山本正美幹事は「原発は事故を起こせば取り返しはつかない。まして伊方原発は断層の上にあり、住民の避難すら困難だ。原発をなくして、再生可能エネルギーに切りかえよう」と呼びかけました。

◇静岡・掛川

今の知事を信頼

中部電力浜岡原発（静岡県御前崎市）から20キロの掛川市・JR掛川駅前では、450回目の「さよなら原発金曜アクション」が行われました。2012年11月から毎週続けてきました。参加した8人は「とり返しがつこうちに決断しよう

原発廃棄」「原発再稼働許さない」「福島を忘れない」などのプラカードを持ち、アコーディオンの弾き語りもして帰宅者にアピールしました。

元原発労働者の増田隆博さん(72)は「危険な原発はなくすという、当たり前のことやしてほしい。安全神話の時代に戻してはいけません。県知事選（20日投票）では、現職の川勝平太さんが浜岡の再稼働を認めない立場で行動してきたから信頼している。原発推進の自民党知事だけは絶対にダメ」と話していました。

◇前橋

避難者に心寄せ

「原発からの撤退を」の声を広げる111回目の昼休みデモが、前橋市内で取り組まれ、約50人が参加しました。群馬県労働組合会議など県内五つの市民団体が主催。

県労働会議事務局次長で全群馬教職員組合の小野里隆副執行委員長が「勤務していた中学校に、浪江町から避難してきた生徒がいた。3・11が近づくと体調を崩す。日本中に同様の子どもがいることを胸に、運動に取り組もう」とあいさつ。

群馬県平和委員会の小田暁夫会長が、土地利用規制法の危険性に触れ「原発ゼロとともに政府に抗議しよう」と呼びかけました。

市内をデモ行進する参加者―前橋市



「う」と呼びかけました。

原発賠償群馬訴訟原告の丹治杉江さんが「最高裁に国の事故責任を認めさせるため、判決に向け100万筆署名に協力を」と呼びかけました。

日本共産党の酒井宏明県議、小林久子、近藤好枝、吉田直弘の各前橋市議が参加しました。

◇津

ツケ回さないで

「原発なくせ三重県民会議」は、津市の津駅前で行い、94回目の月例集会を行い、15人が参加しました。

集会では「原発なくそう！ 未来につけをまわすな！」などの横断幕や「原発いらぬ」「NO NUKES」のプラカードを掲げてスタンディングをしました。感染拡大防止のためスピーチはしませんでした。

政府が関係者の同意なしでトリチウム含有水の海洋放出を決定したことなどを批判し、原発集会への参加を呼びかけるチラシを配り、多くの通行人が受け取りました。

代表世話人の唐沢克昭さんは「政府はトリチウム含有水の放出だけでなく、1原発当たり25億円の交付金を出して福井県の老朽原発を動かそうとしている。こうした問題も今後、訴えていきたい」と話しています。



集会の参加者―津駅前

原発再稼働ストップ



原発をなくそうと訴える参加者―前橋駅北口



◇群馬

汚染水放出ノ―

原発をなくす前橋連絡会は前橋市の前橋駅北口で435回目の宣伝に取り組み、12人が参加しました。

渋川・北群馬原発をなくす会の今野義雄事務局長が、「燃料デブリを直接冷やした福島第1原発の汚染水は、他の原発が排出する冷却水とは根本的に異なり、多くの核種を含み有害。関係者の合意を得ない海洋放出決定

は許せない」と訴えました。

日本共産党の酒井宏明

県議は「電力は足りてい

る。事故を起こせば取り

返しがつかない原発を止

め、廃炉にしよう。最高

裁に公正な判決を求める

100万人署名に協力

を」と呼びかけました。

宣伝中にカンパを寄せ

た70代の女性は、「避難

者の苦勞を思うと胸が痛

い。二度と事故を起こさ

原発再稼働ストップ



◇静岡・焼津

浜岡はポロポロ

静岡県焼津市(旧大井川町)の商業施設前で、387回目の「さよなら原発アピール」において「わ」がありました。

参加者は、「浜岡原発廃炉」の横断幕、再稼働が強行された関西電力美浜原発(福井県美浜町)を批判する「40年原発

を批判する「40年原発

金曜行動

6月25日

老朽 再稼働反対」ポロポロなどを持ち、市民や信号待ちの車にアピール。車内から手を振る応援がありました。

いつも散歩で通りがかって応援の声をかける女性(73)は、「子どもたちの未来のために浜岡原発の再稼働は絶対に許せません。老朽化した原発の再稼働なんておかしなことをしていますね。ドイツのように原発をなくす国になってほしい」と話していました。